

令和6年度 事業報告について

事業概要

令和6年度は、一般労働者の平均賃金伸び率が33年ぶりの大きさになったほか、最低賃金の上げ幅も過去最大となったものの、それ以上にあらゆる物価の高騰が長引く中で、須高管内においても同様に厳しい状況にありました。

しかし、請負・委任事業では、受注価格見積基準単価の引上げや、除草業務などに夏期単価を設定したこと、更に事務費率の2%引上げによって、請負額は前年度を大きく上回る結果となりました。

また、フリーランス法の施行に伴った新たな請負契約方法への移行関係では、通年のご契約をいただく多くの民間事業所の発注者に対し、役職員が一丸となって周知と継続契約の依頼を行った年となりました。

更に、庭木剪定業務においては、従事する会員の高齢化、入会者の敬遠傾向による後継者不足により受注対応に苦慮したほか、高齢者の雇用環境の変化による60歳代の入会者が皆無に等しい状態が、あらゆる事業運営に大きな影響を及ぼしております。

しかしながら、シルバー人材センターは、長期の人口減少過程の中で、生涯現役社会を実現するために働きたいと願う高齢者の就業を高めていく担い手として、地域社会の期待が一層大きくなっていることから、役職員や会員が第四次中期（5か年）計画に沿って、その実現に取り組んできました。

特に、**組織活動の充実や会員拡大**では、会員専用サイト（Smile to Smile）登録会の開催により活用の普及を図ったほか、ハローワーク出張相談会を2回開催しました。**就業開拓の推進**では、就業委員・職員によるイオンモール須坂への折衝活動の実施、更に、**財政基盤の強化等**では、半期のインボイス分を支払ったものの、事務機器等の更新延期や、契約見直しに係る事務処理追加補助金を得るなど経費節減に取り組みました。

最重要課題であります**会員の拡大**では、会報「シルバー須高」やホームページによる情報発信、高齢者活躍人材確保育成事業を活用しての新聞広告やお掃除講座、介護入門基礎講習の実施、入会説明会開催回数の増、手続き有効期限制度の開始、入会の迅速な承認、地域班や会員の口コミによる「会員ひとり1会員拡大」活動など実施したものの、**会員数**は3月に48人もの退会者があった結果、年度末日で608人となり、前年度同期比で19人の減となりました。

事業面では、まず請負・委任事業は、受注件数で57件の減ですが、就業延人員数では40人の増となり、前述の理由から、3月末の事業収入は318,041千円で、前年度同期比21,913千円の大幅な増となりました。就業率は88.3%でありました。

派遣事業でも、受注件数は26件で5件の増と、連合会への事務移行に伴う派遣手数料の引上げにより契約額は35,536千円となり、前年度同期比4.1%の増となりました。

この結果、請負・委任及び派遣事業の収入等の合計は353,577千円で、前年度同期比23,310千円7.1%の増となりました。

安全就業では、事故件数は3月末で傷害・賠償等合わせ12件と前年同期の6件から大幅な増となりましたが、安全ニュースの発行や安全パトロールの実施に加え、除草会員を対象に絞っての危険予知訓練を実施したほか、職群班合同安全講習会では、シルバー保険の現状について理解を深めるなど安全就業の推進に取り組んできました。

以下、主な事業等について報告いたします。